

第 22 回日本組織適合性学会大会のご案内

第 22 回日本組織適合性学会大会

大会長 大戸 斉

福島県立医科大学医学部 輸血・移植免疫学講座

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 22 回大会は「HLA バリアと臨床：葛藤から順応、そして応用へ」をテーマとして、とくに移植など MHC を基盤とした臨床での最前線の成果を取り上げたいと準備しています。会場（コラッセふくしま）は福島駅から直ぐで交通便の良いところにあります。多数のご参加をお待ち致しております。

会 期：2013 年 9 月 14 日（土）～ 16 日（月・祝）

会 場：コラッセふくしま（福島県産業振興センター）

〒 960-8053 福島市三河南町 1-20 TEL 024-525-4089

[第 22 回学会大会ホームページ (HP)]

<http://www.hla2013.com>

完成予定日：2013 年 2 月下旬頃

なお、大会内容、事前参加登録、一般演題登録等に関する最新情報は HP 上で随時お知らせ致します。

[大会内容 (予定)]

◆ 9 月 14 日（土）

1. 教育講演（認定制度講習会）
2. QC ワークショップ集会
3. 認定制度技術者試験
4. 特別講演 I 「未処理 HLA 半合致（ハプロ）移植の現状と課題」

菊田 敦（福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター小児腫瘍部門）

◆ 9 月 15 日（日）

1. 一般口演および学会賞・学術奨励賞候補口頭発表
2. 特別講演 II（演者 交渉中）
3. ランチョンセミナー（未定）
4. シンポジウム I 「移植免疫の基礎と臨床医学」（進行中）

モデレーター：高原史郎（大阪大学大学院医学系研究科 先端移植基盤医療学）

小林孝彰（名古屋大学大学院医学系研究科 免疫機能制御学寄附講座）

5. ポスターセッション（閲覧・発表）
6. 意見交換会

◆ 9 月 16 日（月・祝）

1. 一般口演
2. ランチョンセミナー（未定）

3. 特別講演 III 「Transfusion-associated and fetal-maternal microchimerism beyond MHC?」
Tzong-Hae Lee, MD, PhD (Senior Scientist/Director of Molecular Transfusion Core, Blood Systems Research Institute, San Francisco, California, USA)
4. シンポジウム II 「造血細胞移植における組織適合性研究の新展開」
モデレータ：森島泰雄（愛知県がんセンター研究所）
一戸辰夫（広島大学 血液内科）
 - 1) 造血細胞移植における組織適合性 update
一戸辰夫（広島大学 血液内科）
 - 2) 非血縁者間移植における HLA ハプロタイプ適合性
森島聡子（藤田保健衛生大学）
 - 3) 造血細胞移植における非 HLA 遺伝子多型の臨床的意義
高見昭良（金沢大学）
 - 4) さい帯血移植における組織適合性
熱田由子（名古屋大学）
5. ポスターセッション（閲覧）

[事前参加登録]

事前参加登録は『第 22 回学会大会 HP』から申し込み下さい。
登録期間：2013 年 4 月 16 日（火）から 8 月 7 日（水）となります。

[参加費]

●事前参加費（2013 年 8 月 7 日（水）まで）	●当日参加費
◆理事・評議員・非会員 ￥10,000	◆理事・評議員・非会員 ￥12,000
◆会員 ￥8,000	◆会員 ￥10,000
◆学生 ￥5,000	◆学生 ￥6,000

[一般演題募集要項]

演題登録をされる方は先に事前参加登録をお願いいたします。

登録期間：2013 年 4 月 16 日（火）から 5 月 31 日（金）となります。

今年度は発表スライドも事前登録（一週間前）が必要になります。なお、申込方法や発表要旨形式などの詳細については、『第 22 回学会大会 HP』で随時案内致します。

1. 発表形式

- ・口演またはポスターによる発表です。
- ・発表形式（口演またはポスター）の決定に関しましては、プログラム委員会に一任下さい。

2. 応募資格

- ・筆頭演者は本学会員である必要があります。
- ・非会員の方は、日本組織適合性学会 HP（<http://square.umin.ac.jp/JSHI/index.html>）から入会手続きを行って下さい。

[意見交換会]

日 時：2013 年 9 月 15 日（日）18:00 ～（予定）

会 場：福島ビューホテル（本館 3F 吾妻）

参加費：一般 ¥3,000 学生 ¥2,000

[宿泊・交通のご案内]

本大会の宿泊・交通に関しては、各自で手配をお願いします。

[2013 年度学会賞・学術奨励賞]

組織適合性分野において顕著な業績をあげ、組織適合性学会の発展に貢献した業績が審査により認められた正会員に「学会賞」が授与されます。

また、第 22 回日本組織適合性学会大会の一般演題に応募された中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者（正会員）に「学術奨励賞」が授与されます。

応募希望者は別途の手続きが必要です。詳細は日本組織適合性学会ホームページおよび本学会誌〔19(3): 10-12, 2012〕に掲載されている『2013 年度学会賞ならびに学術奨励賞の募集について』を参照ください。

[大会事務局]

本大会に関する問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒960-1295 福島市光が丘 1 番地

福島県立医科大学医学部 輸血・移植免疫学講座

第 22 回日本組織適合性学会大会 事務局（安田，小野）

Tel: 024-547-1536 Fax: 024-549-3126 E-mail: jshi22@fmu.ac.jp

2013 年度学会賞ならびに学術奨励賞の募集について

会員の皆様

研究助成を目的とした日本組織適合性学会賞並びに学術奨励賞を以下の要領で募集します。今年度より、学術賞に代えて新たに学会賞をもうけました。この学会賞についてはより権威のある高い賞として位置づけるため、昨年度までの学術賞とは趣旨や応募方法が異なりますのでご注意ください。学術奨励賞については、重賞を避けるため過去3年間に学術奨励賞を受賞したものは応募できない点を除き、変更はありません。学会賞並びに学術奨励賞、いずれも日本組織適合性学会の学会賞としての位置づけです。2012年度以上の応募者を期待しています。ふるってご応募ください。

1. 助成内容

これまでの組織適合性分野において顕著な業績をあげられた学会員に学会賞（年齢制限無し）を授与します。また、2013年度学術集会大会（第22回大会）に応募された一般演題の中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者（応募者）に学術奨励賞（2013年9月16日時点で満45才未満）を授与します。授与件数は学会賞1件（原則として助成金10万円）、学術奨励賞2～3件（原則として助成金5万円）を予定しています。

2. 募集分野

- (1) 基礎研究系（主に基礎医学系の研究。理学，生物学的な研究を含む）
- (2) 臨床研究系（臨床関連研究。基礎医学的な疾患研究などを含む）
- (3) 技術応用系（実務関連研究。実務を通じた発見，技術応用などを含む）

3. 応募資格

助成金応募にあたっては、以下の条件のすべてを満たしていることが必要です。

- (1) 学会賞
 - 1) 応募者は本学会の正会員で、原則として5年以上の会員歴があり、2013年度の会費を納入済みであること。
 - 2) 組織適合性分野において顕著な業績をあげ、組織適合性学会の発展に貢献した実績を有すること。なお、年齢制限はありません。
- (2) 学術奨励賞
 - 1) 応募者は本学会の正会員であり2013年度の会費を納入済みであること、または今後正会員となる予定であり第22回大会までに2013年度の会費を納入予定であること（今後正会員となられた方で、第22回大会にて受賞された方は、原則として次年度以降も正会員を継続することを条件とする）
 - 2) 応募者は応募しようとする演題の筆頭演者であること
 - 3) 応募しようとする演題の内容において、応募者が中心的な役割を果たしたこと
 - 4) 応募しようとする演題の内容が、本学会にふさわしく、かつ未発表であること
 - 5) 重賞をさけるために過去3年間に学術奨励賞を受賞したものは応募できない
 - 6) 学術奨励賞の応募者は2013年9月16日時点で満45才未満であること。ただし、技術応用系については年齢制限はありません。

4. 応募方法

大会の演題抄録募集とは別途の手続きで行いますので、以下の書類を次のアドレス宛にメール添付で送って下さい。(HLA 学会事務局, e-mail: mxnishim@gpo.kumamoto-u.ac.jp)

必要書類

(1) 学会賞

1) 業績概要

書式は自由とし、A4 用紙にて 2～3 枚程度とする。

2) 履歴書

書式は自由とし、A4 用紙にて 1 枚程度とする。

3) 論文業績リスト

書式は自由とし、代表的な論文 3 編各 4 部を添付する。

4) 応募ファイル

応募者の連絡先住所、電話番号、Fax、e-mail アドレス、生年月日、年齢を記入する。

(Word 形式で保存し、ファイル名を応募者名申込 .doc {例; 猪子英俊申込 .doc} とする。

(2) 学術奨励賞

1) 抄録

一般演題に応募した抄録

(Word 形式で保存し、ファイル名を応募者名抄録 .doc {例; 猪子英俊抄録 .doc} とする)

2) 応募ファイル

1 頁目に、演題名、演者 (全員)、所属 (全員)、応募分野 (基礎研究系、臨床研究系、技術応用系のいずれかひとつ)、および応募者 (筆頭演者) の連絡先住所、電話番号、Fax、e-mail アドレス、生年月日、年齢を記入する。

2 頁目以降に、応募した (1) 研究の背景、(2) 研究の意義、(3) 日本組織適合性学会との関わり (これまでと今後の方針・希望など) を、各項目ごとに 300～400 字程度でまとめる。

(Word 形式で保存し、ファイル名を応募者名申込 .doc {例; 猪子英俊申込 .doc} とする。

5. 応募締め切り

2013 年 6 月 30 日 (必着)

6. 選考および結果通知について

(1) 学会賞

4 名の学術奨励賞委員会委員が書面審査を行い、その結果をもとに学術奨励選考委員会にて選考し、大会前に選考結果を公表します。受賞者には第 22 回大会期間中に受賞講演と表彰式を実施します。

(2) 学術奨励賞

22 回大会期間中に実施される「学術奨励賞応募演題セッション」において発表を行っていただきます。4 名の学術奨励賞委員会委員が発表内容の評価を行います。その評価結果を参考にして学術奨励賞選考委員会にて選考を行います。第 22 回大会期間中に選考結果を公表し、表彰式を実施します。

7. 助成金の使途

使途について特に制限はありませんが、学会賞・学術奨励賞であることの趣旨をご理解の上、適切に使用ください。なお、使途とその内訳を後述の報告書に記載するものとします。

8. 学術奨励受賞者にかかる義務について

学会受賞者は、助成が行われた研究課題についての報告書（様式は別途通知します）を学会宛に提出して頂きます。

9. 助成が行われた研究課題の成果発表について

研究課題の研究成果については、原著論文もしくは総説等の形式にて、学会誌 MHC への積極的な発表をお願いします。

10. 問い合わせ先

本件に関する問い合わせは学会事務局（Tel: 096-373-5310, Fax: 096-373-5314, e-mail: mxnishim@gpo.kumamoto-u.ac.jp）または学術奨励賞担当理事 猪子英俊（Tel: 0463-93-1121 内線 2312, Fax: 0463-94-8884, e-mail: hinoko@is.icc.u-tokai.ac.jp）をお願いします。

「認定 HLA 検査技術者認定制度申請要領」の訂正とお詫び

組織適合性技術者認定制度委員会

委員長 田中 秀則

本誌 19 巻 3 号において掲載いたしました「平成 25 年度 認定 HLA 検査技術者認定試験申請要領」について、下記の誤りがありましたので訂正しお詫び致します。

記

誤) 実技試験：平成 25 年 9 月 17 日（月曜日）時間は未定

筆記試験：平成 25 年 9 月 17 日（月曜日）時間は未定

↓

正) 実技試験：平成 25 年 9 月 14 日（土曜日）時間は未定

筆記試験：平成 25 年 9 月 14 日（土曜日）時間は未定

**組織適合性検査技術者認定制度
平成 25 年度・認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ**

組織適合性検査技術者認定制度委員会
委員長 田中 秀則
組織適合性検査技術者認定制度委員会教育部会
部会長 太田 正穂

日 時：平成 25 年 9 月 14 日（土曜日）時刻：10 時～12 時の予定

会 場：第 22 回・日本組織適合性学会 大会会場

コラッセふくしま（福島県福島市三河町 1 番 20 号）の予定

日時と会場は確定次第，学会ホームページに掲載し，また MHC の Vol. 20, No. 1 に掲載します。

テキスト：テキストは講習会の約 1 ヶ月前に，学会ホームページ上に掲載しますので各自，御参照ください。
会場でのテキストの販売は，いたしません。

受講証明書：認定制度に関わる受講証明の受領を希望される方には，会場入口の受付にて，1 人につき 1 枚を発行いたします。

内 容：各講習とも質疑応答を含めて，35 分を予定しています。なお講師と講演タイトルについては，今後決定次第，平成 25 年 3 月上旬ごろに学会ホームページに掲載すると共に，MHC Vol. 20, No. 1（平成 25 年 4 月末発刊予定）にも掲載いたします。

(1) HLA に関する基礎医学的な講演

(2) HLA タイピングあるいは抗 HLA 抗体検査に関する講演

(3) 臓器移植の臨床医学に関する講演

この講習会は，今後 HLA 検査技術者認定を取得，あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが，それ以外の大会参加者であっても自由に参加することができます。従来のように，事前に受講希望届けを提出し，事前登録していただく必要はございません。

平成 24 年度・認定 HLA 検査技術者講習会アンケート集計結果

講習会開催日時：平成 24 年 9 月 17 日（月・祝）9:00～11:00

会 場：第 21 回・日本組織適合性学会 大会会場

明治大学駿河台キャンパス リバティホール（東京都千代田区神田駿河台 1-1）

・回答者総数：112 名

1) 旅費・滞在費の財源について 回答者 109 名

①	私費	33 名 (30%)
②	職場からの支援	70 名 (64%)
③	その他	6 名 (6%)

③その他の内訳：研究費から 2 名，①と②を半額ずつ 2 名

2) 職場・職務について

職場 回答者 112 名

①	病院	47 名 (42%)
②	血液センター	18 名 (16%)
③	検査センター	13 名 (12%)
④	大学（国公立，私立）	13 名 (12%)
⑤	民間企業	11 名 (10%)
⑥	その他	7 名 (6%)

職務 回答者 105 名

①	臨床医	1 名 (1%)
②	臨床検査業務	58 名 (55%)
③	検査受託業務	18 名 (17%)
④	製造業関連業務	9 名 (8%)
⑤	製品開発業務	1 名 (1%)
⑥	教育業務	0 名 (0%)
⑦	研究業務	10 名 (10%)
⑧	その他	8 名 (8%)

3) 参加者の認定制度への関わりについて

認定資格の取得状況および取得への希望 回答者 105 名

①資格取得済み 55 名 (52%) ②資格取得希望 33 名 (31%) ③資格取得希望なし 17 名 (17%)

取得済みまたは取得を希望する資格 回答者 49 名

①認定技術者 44 名 (90%) ②認定指導者 5 名 (10%)

4) 学会ホームページに掲載された，講習会テキストの事前確認の有無 回答者 110 名

あり 98 名 (89%) なし 12 名 (11%)

5) 講習科目の種類は適切であったか？ (数値は 5 点満点の平均点)

平均点 4.8

評価の基準：5：すべての科目において適切であった。
 4：一部の科目に問題があったが、ほぼ適切であった。
 3：約半数の科目は適切であった。
 2：多くの科目について不適切であった。
 1：すべての科目について不適切であった。

6) 講習内容のレベルならびに講習テキストは適切であったか？ (数値は 5 点満点の平均点)

	講演評価	テキスト評価
平均点	4.3	4.2

評価の基準：5：すべて理解できた。
 4：一部は難解であったがほぼ理解できた。
 3：約半分は理解できた。
 2：多くの内容について難解であった。
 1：すべての内容が難解であった。

7) 講習時間は量的に適切であったか？ (数値は 5 点満点の平均点)

時間評価平均点	その他 要望
4.4	マラリアの話も聞きたかった 質疑応答の時間を、もう少し長く設けてほしい LCT のやり方やフローの見方を教えてほしい 高陽淑先生のプレゼン PPT がよかった。話が分かり易かった。

評価の基準：5：適切であった。
 4：ほぼ適切であった。
 3：もっと長時間の講習を受けたかった。
 2：講習時間は、もう少し短くてもよかった。
 1：その他

8) 講習会の開催通知は適切であったか？ (数値は 5 点満点の平均点)

平均点 4.9

評価の基準：5：適切であった。
 4：あやうく見落とすところであった。
 3：他の人から情報を得るまで気が付かなかった。
 2：その他

情報の入手経路	回答数
学会誌	31 名 (35%)
学会誌, ホームページ	20 名 (22%)
ホームページ	36 名 (40%)
ホームページ, 口コミ	1 名 (1%)
口コミ	1 名 (1%)
その他	1 名 (1%)

9) その他の意見

①講習の内容について

- ・ 実技研修等の開催
- ・ もう一題くらいあってもいいと思う。
- ・ 「肝移植における HLA の意義」のテーマは実施してほしい

②学会ホームページについて

- ・ ホームページの更新を希望する。

③会場及び開催時期について

- ・ 3 連休に学会大会を行うのは困る。
- ・ もうすこし涼しい季節にしてほしい。
- ・ 雑誌配布時に一枚紙で QCWS の案内をしていただければ、忙しい施設でも参加しやすくなるのではないと思う。

④その他（認定制度更新について）

- ・ 事前登録については、毎年変わるので見落とししたりする可能性が高い。確立してほしい。
- ・ 更新手続き等、分かりづらい部分が多い。
- ・ 更新直前 2 年のうちに一回は出席することになっているが、私費の場合、遠方が続くと経済的に大変なので次年度の開催地まで教えてほしい。

日本組織適合性学会 認定制度委員会 QCWS 部会名簿 (2013 年)

担 当	氏 名	所 属
部 会 長:	田中秀則	日本赤十字社 中央血液研究所 中央骨髄データセンター
副 部 会 長:	中島文明	日本赤十字社 中央血液研究所 研究開発部
副 部 会 長:	成瀬妙子	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野
• 企画解析部門		
臓器移植分野:	湯沢賢治	国立病院機構水戸医療センター 臨床研究部移植医療研究室 (新任)
造血幹移植分野:	一戸辰夫	広島大学 原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 (新任)
輸 血 分 野:	高 陽淑	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 検査三課
• 試料管理部門		
DNA-QC 担 当:	安波道郎	長崎大学 熱帯医学研究所
抗 体 -QC 担 当:	中島文明	日本赤十字社 中央血液研究所 研究開発部
• 部 会 員:		
	石塚 敏	東京女子医科大学 中央検査部 移植関連検査室
	太田正穂	信州大学 医学部 法医学教室
	吉川枝里	東海大学 医学部基礎医学系分子生命科学
	木村彰方	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子病態分野
	小林孝彰	名古屋大学 移植免疫学寄附講座
	宮崎 孔	日本赤十字社 北海道ブロック血液センター 検査一課
	森島泰雄	愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部
	橋口裕樹	福岡赤十字病院
	山本 賢	国立病院機構 大阪医療センター 臨床検査部

事 務 局 : 日本赤十字社 血液事業本部内